2021年３月期 中間決算 説明資料

2020年11月26日 株式会社ヤシマキザイ

（ 東証２部 証券コード:7677 ）

説明会会場：公益社団法人日本証券アナリスト協会 兜町平和ビル２Ｆ

YASHIMA

YASHIMA

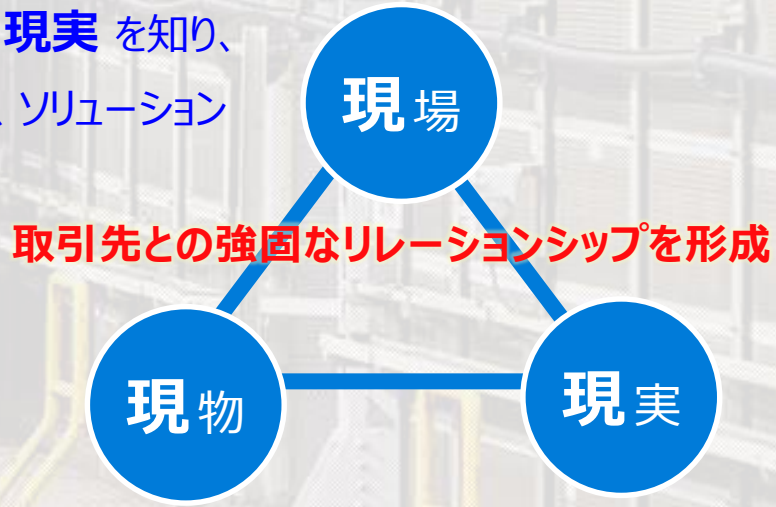
株式会社ヤシマキザイとは

鉄道業界を主な市場として、商材やサービスを提供する商社です

３現主義を基軸に、鉄道業界で重要なポジションを確立しています

３現主義とは

顧客の **現場** に足を運び、**現物** に触れ、**現実** を知り、顧客のニーズをくみあげ、仕入先に展開し、ソリューションを組み立てることを意図しています。



目次

1. 2021年3月期 連結中間決算概況 P. 4

2. 2021年3月期 連結通期業績・配当予想 P.14

3. トピックス P.19

4. ご参考資料 P.25

【ご注意事項】

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述している将来見通しとは、大きく異なる可能性があります。

1.　2021年3月期 連結中間決算概況

① 貸借対照表（連結）

【連結中間決算概況】

YASHIMA

- 主に売掛金の回収と買掛金の支払により、流動資産と流動負債が減少していますが9月末の現預金は7,000百万円、前年9月末より11%増加、借入金はなく現預金は充分確保できています。
- その他の包括利益累計額の減少は、投資有価証券の時価評価差額等によりますが前期下半期、今期中間決算の利益計上により、純資産合計は増加しています。

金額単位 (百万円)	2019/9末	2020/9末	前年同期増減	前年同期比
【資産の部】				
流動資産	18,846	17,314	▲1,532	▲8.1%
（うち、現預金）	(6,299)	(7,000)	(＋700)	(＋11.1%)
固定資産	3,216	3,037	▲178	▲5.6%
資産合計	22,063	20,352	▲1,710	▲7.8%
【負債の部】				
流動負債	12,435	10,685	▲1,750	▲14.1%
固定負債	972	935	▲37	＋3.8%
負債合計	13,408	11,620	▲1,787	▲13.3%
【純資産の部】				
株主資本	8,228	8,525	＋296	＋3.6%
その他の包括利益累計額	426	205	▲220	▲51.7%
純資産合計	8,655	8,731	＋76	＋0.9%
負債純資産合計	22,063	20,352	▲1,710	▲7.8%

（参考）当座比率 (当座資産÷流動負債)　135%　→　143%

（参考）流動比率 (流動資産÷流動負債)　152%　→　162%

②-1 損益計算書（連結）

【連結中間決算概況】

YASHIMA

■ 売上高は前期実績とほぼ同じ。

鉄道事業は、総じて長納期品が多く、前期中に得た受注残が奏功して販売業績は堅調でしたが一般事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、取引先の需要低迷や生産量の低下によって受注が減少して、販売業績も低調となりました。

■ 利益面は売上総利益の減少を販管費の削減が補った。

売上総利益は前期比▲2.1%だったが、新型コロナウイルス感染症に伴う移動制限等で、出張等営業経費が大幅に削減、加えて前期は新規上場費用の計上もあり、販売費および一般管理費は前期比▲10.2%と営業利益を押し上げ、営業利益以下の段階利益は大きく増加しました。

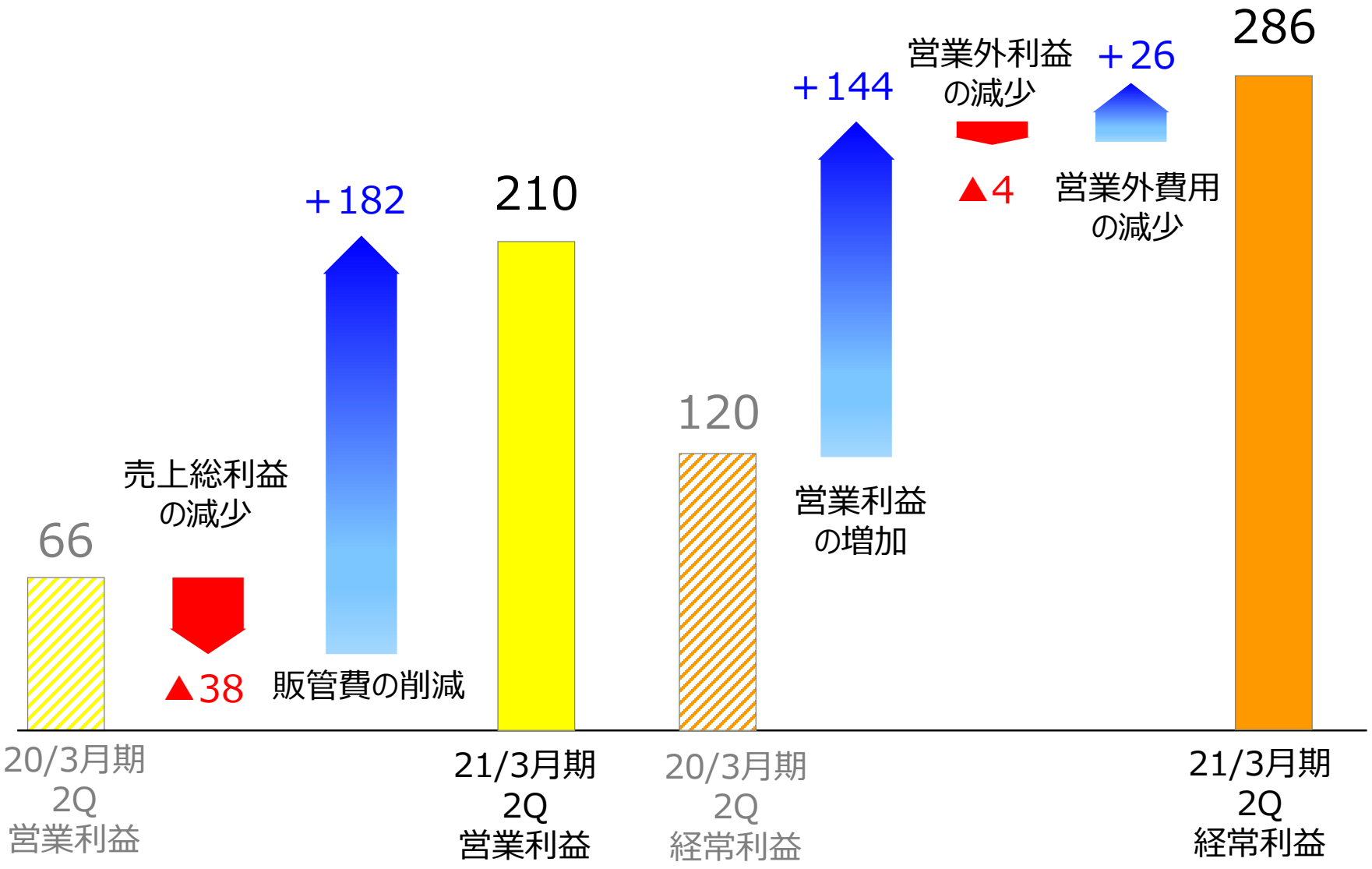
金額単位 (百万円)	20/3期 中間決算実績	21/３期 中間決算実績	増減額 (百万円)	前期比
売上高	15,440	15,444	＋4	＋0.0%
鉄道事業	13,859	14,160	＋300	＋2.2%
一般事業	1,580	1,284	▲295	▲18.7%
売上総利益	1,845	1,807	▲38	▲2.1%
販売費および一般管理費	1,779	1,597	▲182	▲10.2%
営業利益	66	210	＋144	＋217.1%
経常利益	120	286	＋165	＋137.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	84	189	＋104	＋124.6%

②-2 損益計算書（連結）

【連結中間決算概況】

YASHIMA

■営業利益・経常利益の増加要因 (金額は百万円)

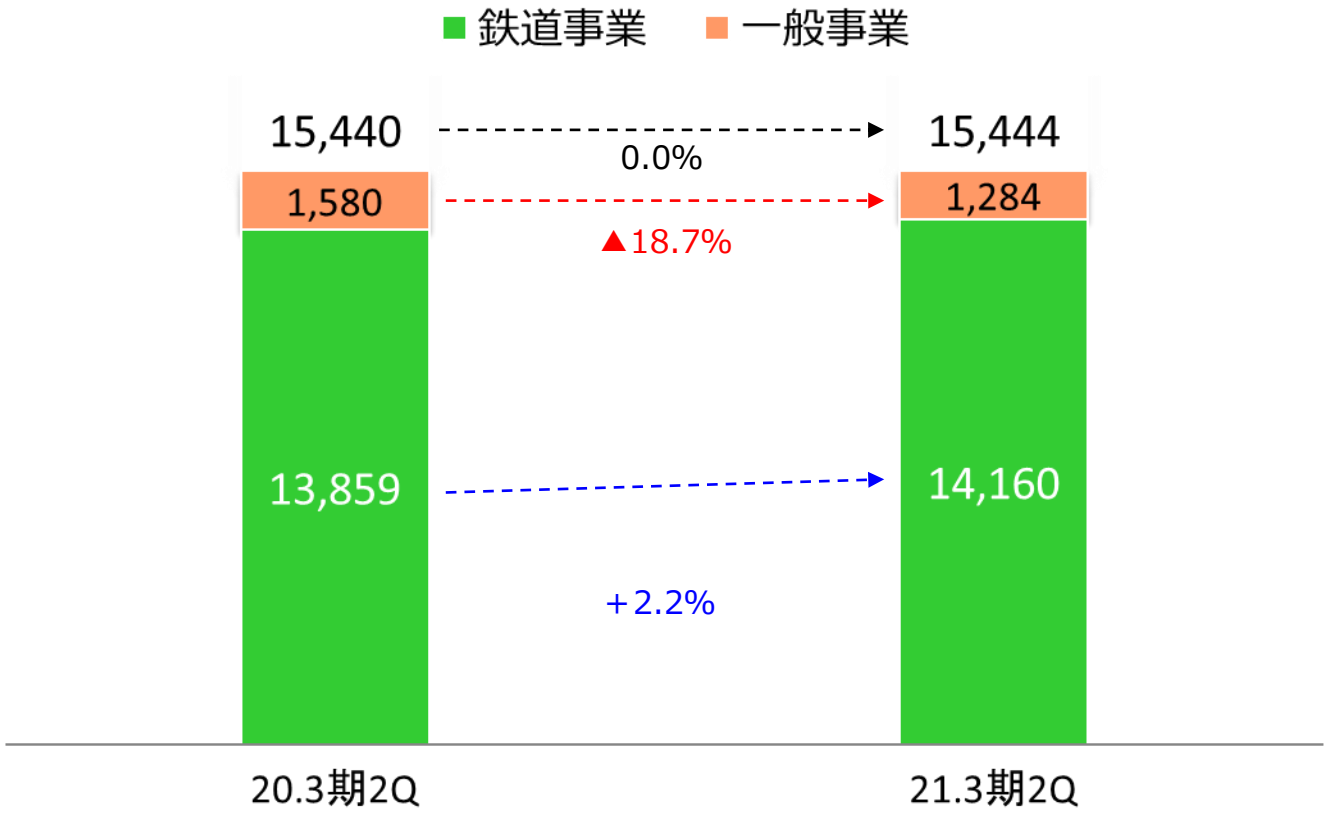


③ セグメント別売上高の推移　【連結中間決算概況】

YASHIMA

■ セグメント別では、鉄道事業は2.2%の増収、一般事業は18.7%の減収

セグメント別　売上高構成比



・鉄道事業　　鉄道事業者や車両メーカー等に車体用品、電気用品等を販売

・一般事業　　鉄道業界以外の産業機器メーカー等に電子部品等を販売

④ 鉄道事業の商材

【連結中間決算概要】

YASHIMA

■ 車両周りをメイン分野とし、幅広い鉄道関連事業を展開

車体用品

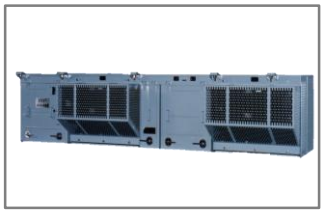
ブレーキ制御装置

ドア開閉装置

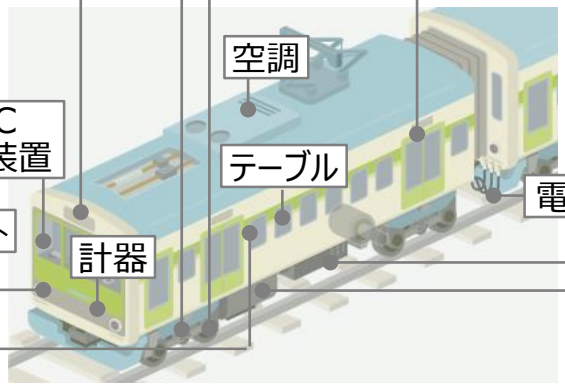
表示器

電気用品

速度発電機



鉄道車両用インバーター



その他車載品

ロールカーテン

コネクタ・電子部品

車両用コネクタ

内燃用品

鉄道用エンジン部品

各種設備品

簡易型輪重測定装置

システム

運行管理システム

発変電設備

変電所設備

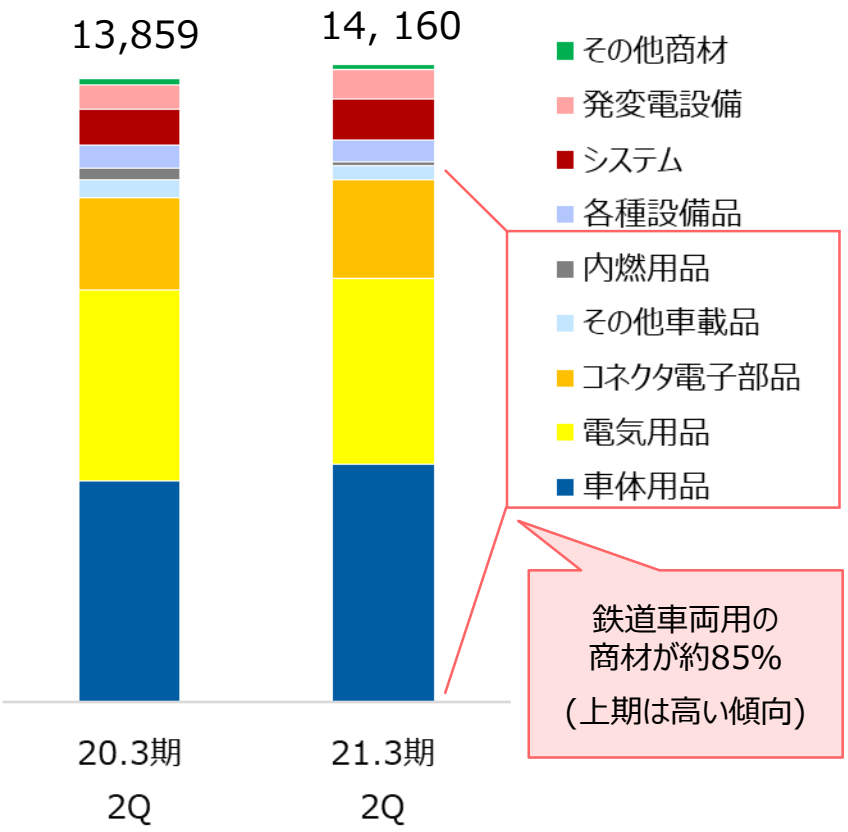
⑤ 鉄道事業の売上高

【連結中間決算概要】

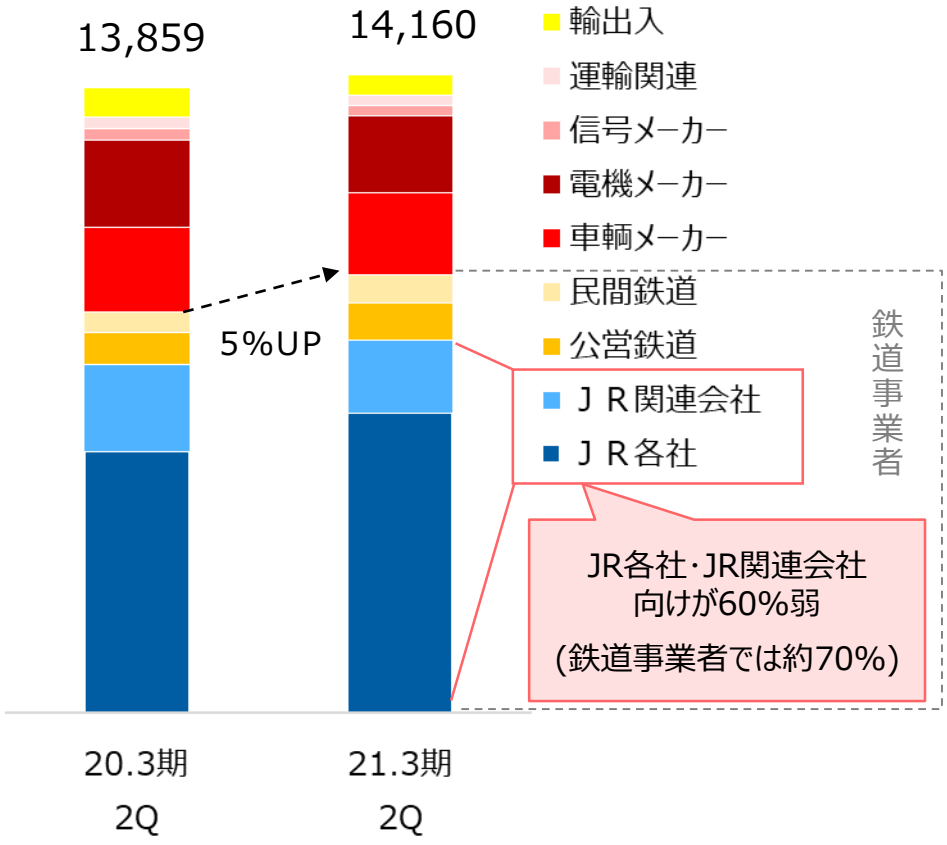
YASHIMA

- 鉄道事業は９つの「商材」を９つの「業界」に販売しています。
- 前期比は2.2%の増収、「商材」では「車体用品」と「コネクタ電子部品」が牽引し、「業界」では「鉄道事業者」向けの販売が牽引しました。
- 売上高構成は、鉄道車両用の「商材」が約85%を占め、「ＪＲ各社･ＪＲ関連会社」とする「業界」が60%弱を占め、「鉄道事業者」では約70%を占めました。

9商材別　売上高構成比



9業界別　売上高構成比



⑥ 一般事業の商材

【連結中間決算概要】

YASHIMA

■ 鉄道事業以外の販売先を対象に、主にコネクタ・電子部品などを販売

電力・強電 業界向け

EV充電器・
充電スタンド

電力用コネクタ

産業機器 業界向け

産業機器用コネクタ

船用コネクタ

エレベータ用コネクタ

建機用コネクタ

移動電源車

ウルトラファインバブル
生成装置

自動車用ミラー

自動車用コネクタ

自動車関連 業界向け

電線

ハーネス

電線・ハーネス 業界向け

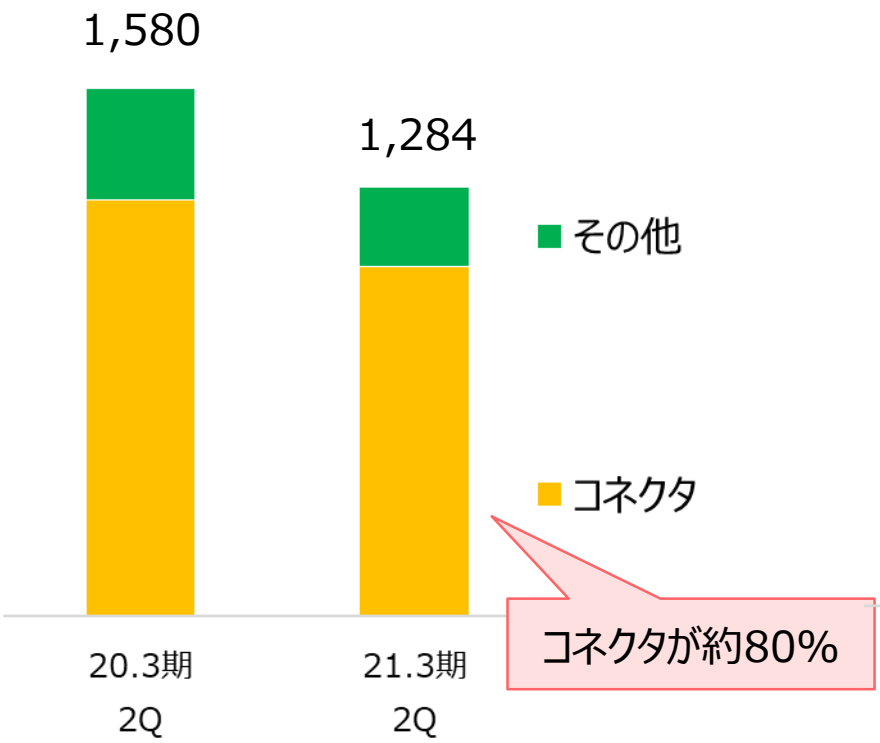
⑦ 一般事業の売上高

【連結中間決算概要】

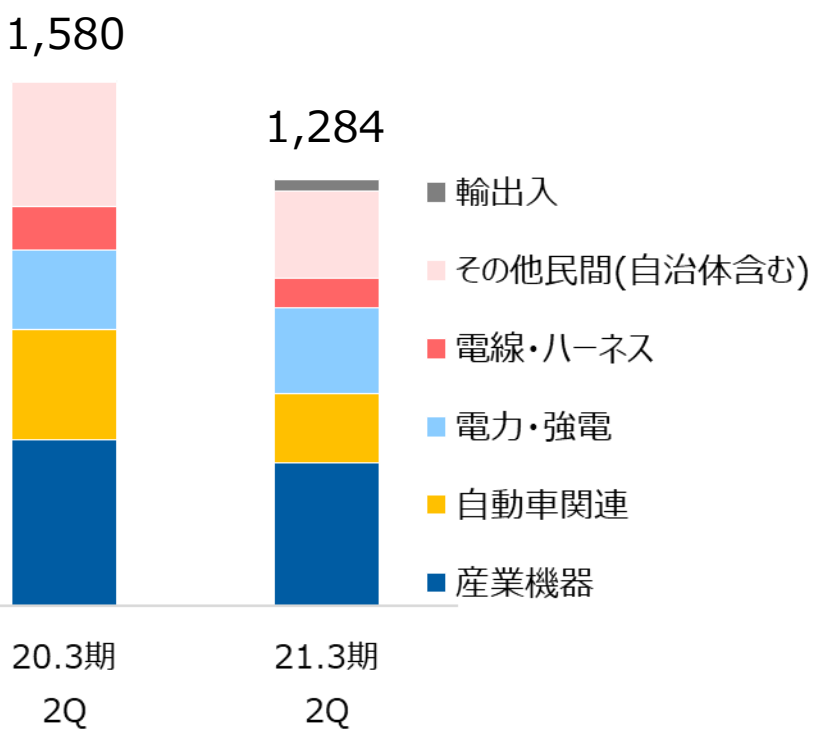
YASHIMA

- 一般事業は、６つに区分した「業界」に、主にコネクタ・電子部品を販売しています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等を受け、取引先の需要低迷や、生産量の低下により受注が減少して、前期比18.7%減と大きく減収となりました。

商材別　売上高構成比



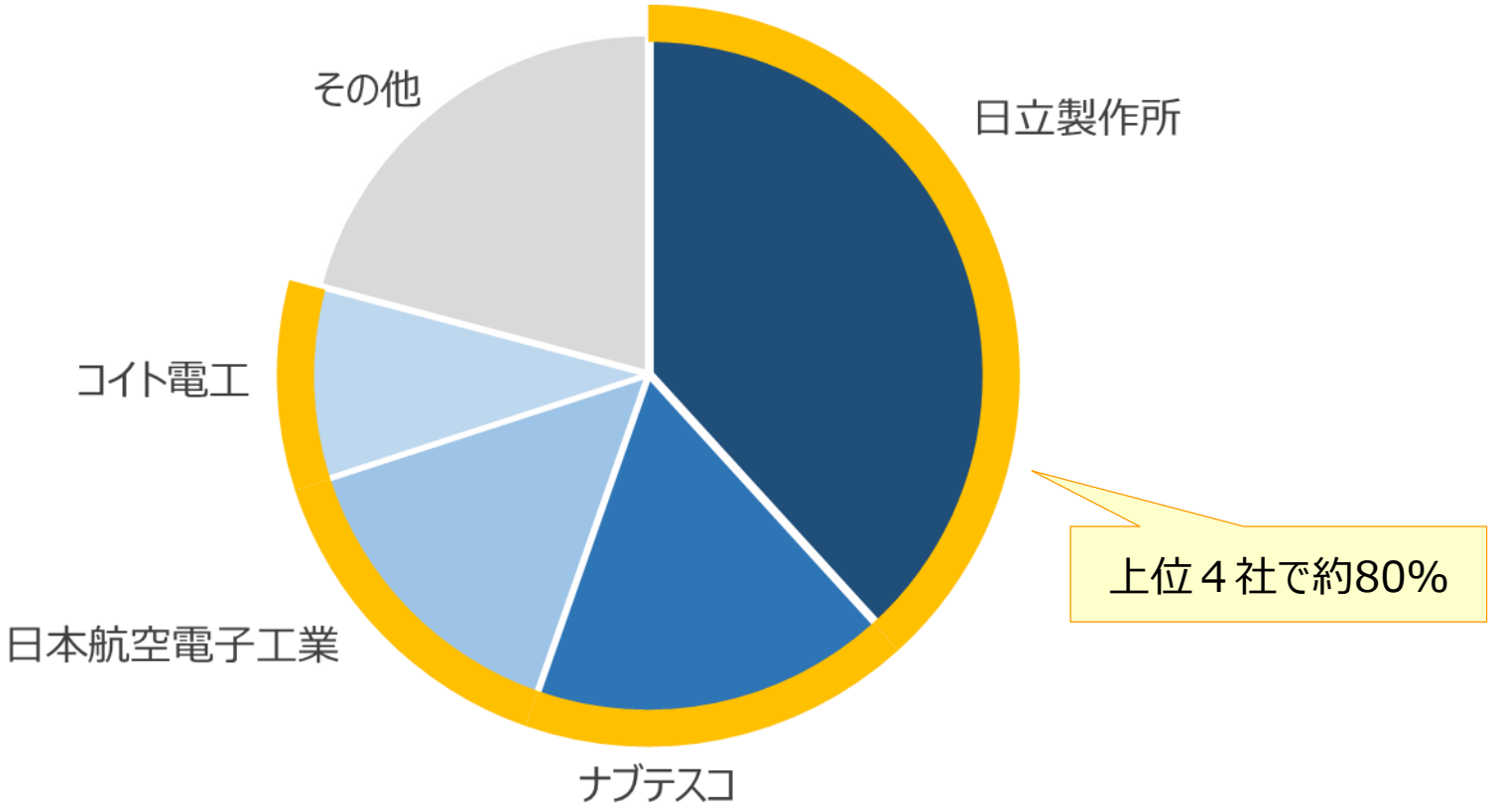
業界別　売上高構成比



⑧ 仕入の状況

YASHIMA

- 連結中間決算における、仕入先の構成を表すと次のとおりです。
- 上位４社で約80%の構成比となっています。
- この構成比は、通期では概ね75%ですので、若干高くなっています。



2.　2021年3月期 通期業績・配当予想

① 通期業績予想の前提　【2021年3月期 通期業績・配当予想】

YASHIMA

- 当社は2020年5月25日開示、2020年3月期の「決算短信」で2021年3月期の通期業績予想を公表しました。
- その前提は、新型コロナウイルス感染症の影響を、合理的に算定することが極めて困難であったため、新型コロナウイルス感染症による影響は織り込まないものとしました。
- これは当社主要取引先である鉄道事業者、中でもＪＲ各社の通期業績予想や設備投資・修繕計画値等が未公表であったことが大きな要因でした。
- 現段階になって、ようやく上場ＪＲ各社の通期業績予想や、設備投資・修繕計画値等が公表されましたが、それが当社業績にどのような影響を及ぼすのか、合理的に算定することは未だに困難な状況にあります。
- また鉄道事業者の中には、通期業績予想や設備投資・修繕計画が未公表の事業者もありこれらも当社業績への影響を合理的な算定することを困難としています。
- 従いまして、現時点で2021年３月期通期業績予想の修正は無し、新型コロナウイルス感染症による影響も、引き続き織り込んでおりません。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する当期純利益	１株あたり当期純利益
2021年3月期 通期業績予想	38,207 百万円	412 百万円	472 百万円	300 百万円	105.98 円

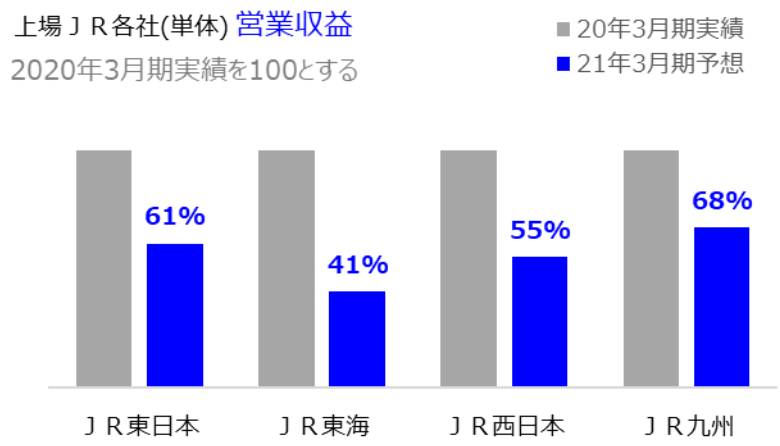
直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

- 新型コロナウイルス感染症による当社業績への影響は、主要取引先の動向も注視して引き続き状況の把握と精査に努めてまいります。

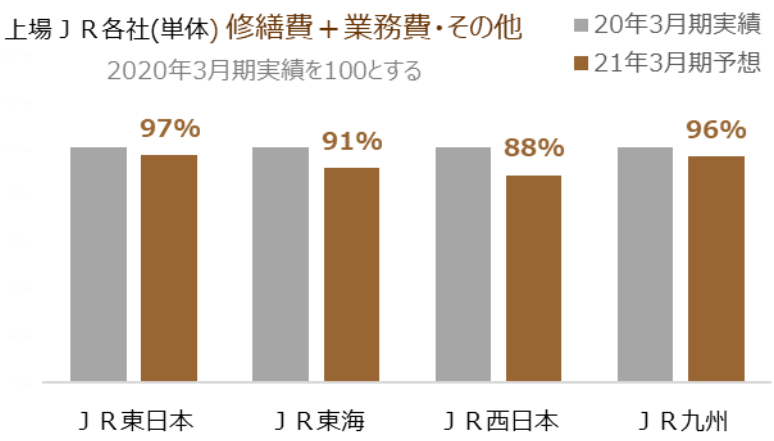
② 上場ＪＲ各社の状況　【2021年3月期 通期業績・配当予想】

YASHIMA

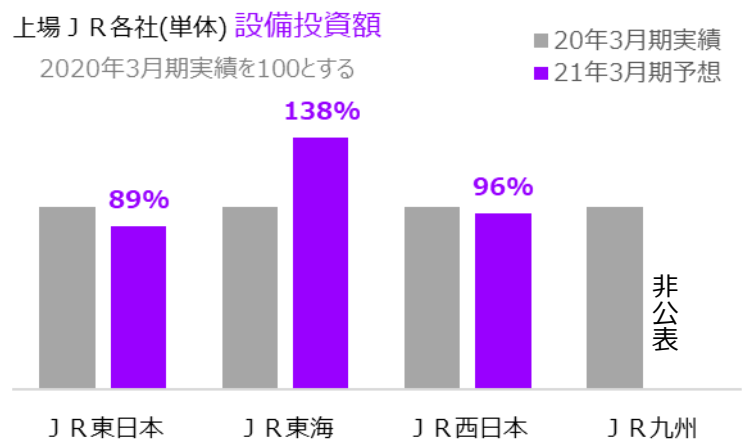
■ 各社とも厳しい経営環境にあります。



■ 当社では、ＪＲ各社単体：損益計算書におけるコストに相当する「営業費」のうち「修繕費」と「業務費・その他」の支出区分と「設備投資額」に着目しています。



修繕費＋業務費・その他 は、各社削減傾向にあります

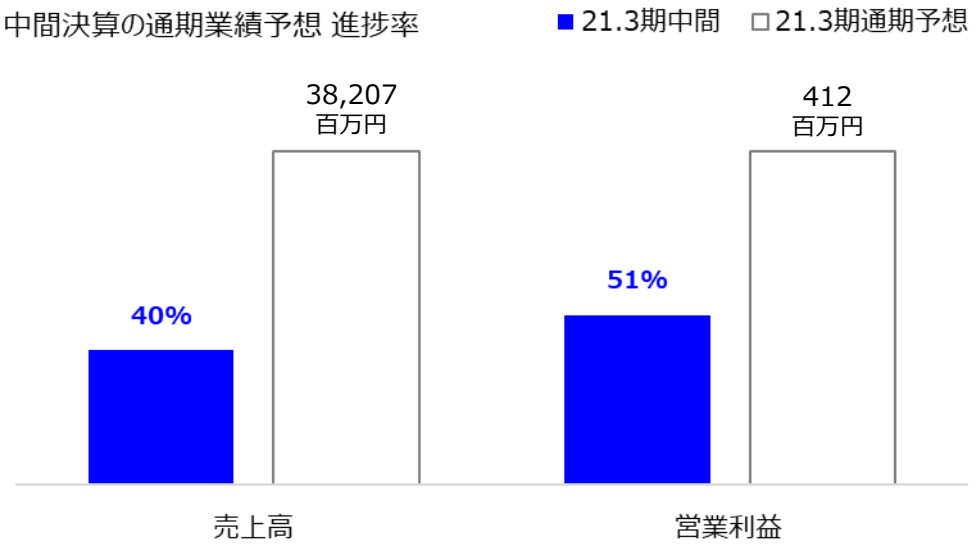


ＪＲ東海の設備投資額は、リニア中央新幹線への投資があるため増加しています

③ 通期業績予想の状況　【2021年3月期 通期業績・配当予想】

YASHIMA

- 鉄道事業者は旅客数の減少により、営業収益は前期比で大きく落ち込む予想です。
- 一方で、既存設備の維持･保守･改修等に充てる「修繕費」や、外注費や購入費に相当する「業務費・その他」は、営業収益の減少と比べれば少ないものの、削減傾向にあります。
- 同様に、「設備投資」についても各社で見直しがなされています。
- 従って当社業績もその影響は否めず、通期業績予想は慎重に注視しています。



新型コロナウイルス感染症による影響は、現段階でも合理的に算定ができないため上記業績予想には織り込んでおりません。

④配当予想の状況

【2021年3月期 通期業績・配当予想】

YASHIMA

■ 当社は2020年5月25日開示、2020年3月期の「決算短信」で、2021年3月期の配当予想を公表しましたが、現時点で配当予想の修正はございません。

	2018/3期 (実績)	2019/３期 (実績)	2020/３期 (実績)	2021/３期 (予想)
１株あたり年間配当額	15.00円	25.00円	25.00円	25.00円
１株あたり当期純利益	124.32円	185.80円	89.68円	105.98円
配当金総額	38百万円	64百万円	70百万円	－
配当性向 (連結)	12.1%	13.5%	27.9%	23.6%

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、安定的な配当の継続維持を基本方針としております。

3.　トピックス

1．株主優待制度の導入

今年８月、毎年９月末に100株以上を保有する株主様を対象に、株主優待制度を導入しました。

株主様の日頃のご支援への感謝と、当社株式への魅力をより一層高め、中長期的に保有いただける株主様の増加を図ることを目的としています。

その効果もあってか、今年９月末の株主数は３月末より増加しました。

株式数に応じてポイントが贈呈され、そのポイントを特設サイト「ヤシマキザイ・ プレミアム優待倶楽部」にて、2000点以上の商品からお好みの商品をお選びいただけます。
（社会貢献活動への寄付も可能です）

YASHIMA 株式会社ヤシマキザイ × Premium プレミアム優待倶楽部

YASHIMA

２．ＮＥＸＣＯ各社への深耕

近年、NEXCO各社から受注を得ています。

まだ全社を牽引できる受注額ではありませんが、NEXCO各社は規模が大きく、注力販売先と捉えています。

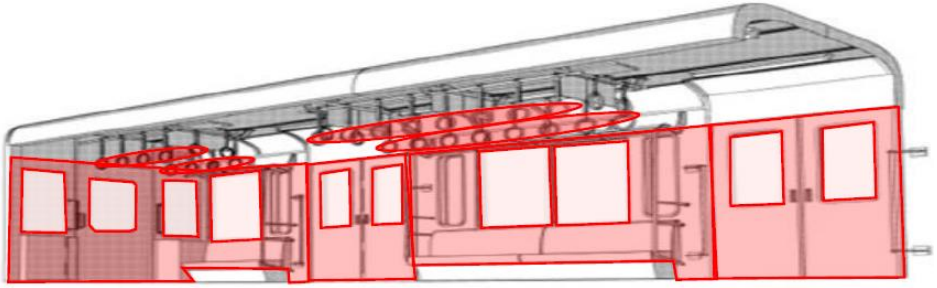
NEXCO各社に対する拡販のため、今期各拠点からなる「専任チーム」を発足して、全国的に営業部門が連携してNEXCO各社への深耕に取り組んでいます。

YASHIMA

3．感染症対策商品の販売

従来から販売品、長期持続型の抗菌・消臭剤「ＹＡＭシリーズ」をベースに主に鉄道車両内での利用を考え、新型コロナウイルスに有効な感染症対策用の抗菌コーティング剤「リキッドＹＡＭ」を、2020年6月にリリースしました。

8月「京成電鉄」、「北総鉄道」を始めに、以降複数の鉄道事業者で採用を頂いております。

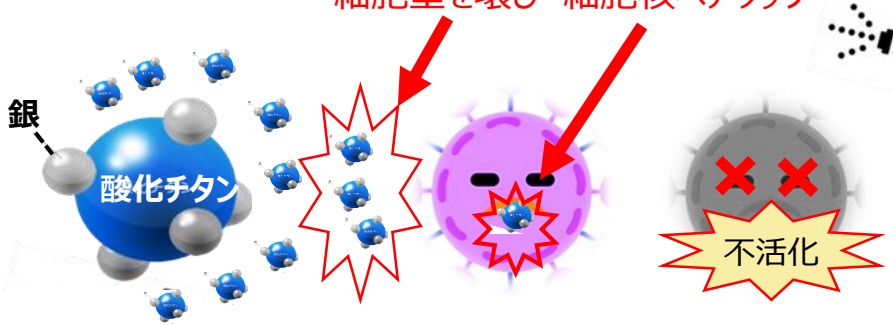


長期持続型抗菌・消臭剤
ＹＡＭシリーズ

感染症対策用 抗菌コーティング剤
リキッドＹＡＭ

抗菌イメージ　銀および銀イオンの力で

細胞壁を壊し　細胞核へアタック



施工周期：1 回／年

新型コロナウイルス感染症の影響は予断を許さず、当社を取り巻く環境も厳しい状況にありますが、当社はその活動を通じてステークホルダーの皆様、そして社会に役立てるように努めてまいります。

本日はご多忙中にも関わらず、中間決算説明会にご参加を頂きまして、ありがとうございました。

これからもヤシマキザイをよろしくお願い致します。

ご清聴、ありがとうございました。

株式会社ヤシマキザイ

2020年11月26日　2021年３月期 中間決算 説明会

（説明会会場：公益社団法人日本証券アナリスト協会 兜町平和ビル２Ｆ）

YASHIMA

4.　ご参考資料

会社概要

YASHIMA

社　　名	株式会社ヤシマキザイ　　【英文名】Yashima ＆ Co.,Ltd.
本　　社	東京都中央区日本橋兜町6番5号
代　表　者	代表取締役社長　髙田　一昭
設　　立	1948年10月28日
資　本　金	9,990万円
従 業 員 数	263名（2020年3月末現在）
事 業 内 容	鉄道関連製品と産業用電子部品の販売、メンテナンスサービスおよび輸出入

連結子会社

名称	住所	資本金	事業内容	議決権の所有(又は被所有)割合	関係内容
ヤシマ物流株式会社	東京都中央区	40,000千円	鉄道事業、一般事業	100.0%	物流業務等の委託
亜西瑪(上海)貿易有限公司	中国上海市	1,000千US$	鉄道事業、一般事業	100.0%	商材の仕入・販売 借入債務の保証 役員の兼務４名

※両社とも特定子会社　※有価証券届出書又は有価証券報告書を提出している会社はありません。

海外拠点

インド支店、ミャンマー支店、ハノイ駐在員事務所、ジャカルタ駐在員事務所、マニラ駐在員事務所、ロンドン事務所
■上海会社(現地法人)：上海・青島・深圳

沿革①

年月	概　要
昭和23年10月	香西角三郎他６名を発起人とし、資本金25万円で東京都中央区に 八洲器材株式会社 として設立
昭和26年８月	振興造機株式会社（現　神鋼造機株式会社）と代理店契約を締結
昭和37年４月	株式会社日本エヤーブレーキ（現　ナブテスコ株式会社）の販売代理店となる
昭和40年10月	株式会社日立製作所「鉄道車両用品」の旧国鉄向け販売代理店となる
昭和46年８月	神鋼電機株式会社（現　シンフォニアテクノロジー株式会社）の販売代理店となる
昭和52年10月	日本航空電子工業株式会社「コネクター及び同関連製品」の特約店となる
平成２年４月	小糸工業株式会社（現　コイト電工株式会社）「鉄道車両部品」の特定地区向け代理店となる
平成７年４月	東京都中央区に子会社ヤシマ物流株式会社設立（100%出資）
平成16年４月	中国現地法人　亜西瑪（上海）貿易有限公司を設立（100%出資）
平成20年１月	三友物産株式会社を子会社化（100%出資）
平成23年10月	日立三菱水力株式会社「水力発電システム」の販売代理店となる
平成25年11月	本社を現所在地に移転（東京都中央区日本橋兜町６番５号）
平成25年12月	当社の商号を 株式会社ヤシマキザイ に変更
平成29年４月	三友物産株式会社を吸収合併
令和元年６月	東京証券取引所 市場第二部 に上場

沿革②

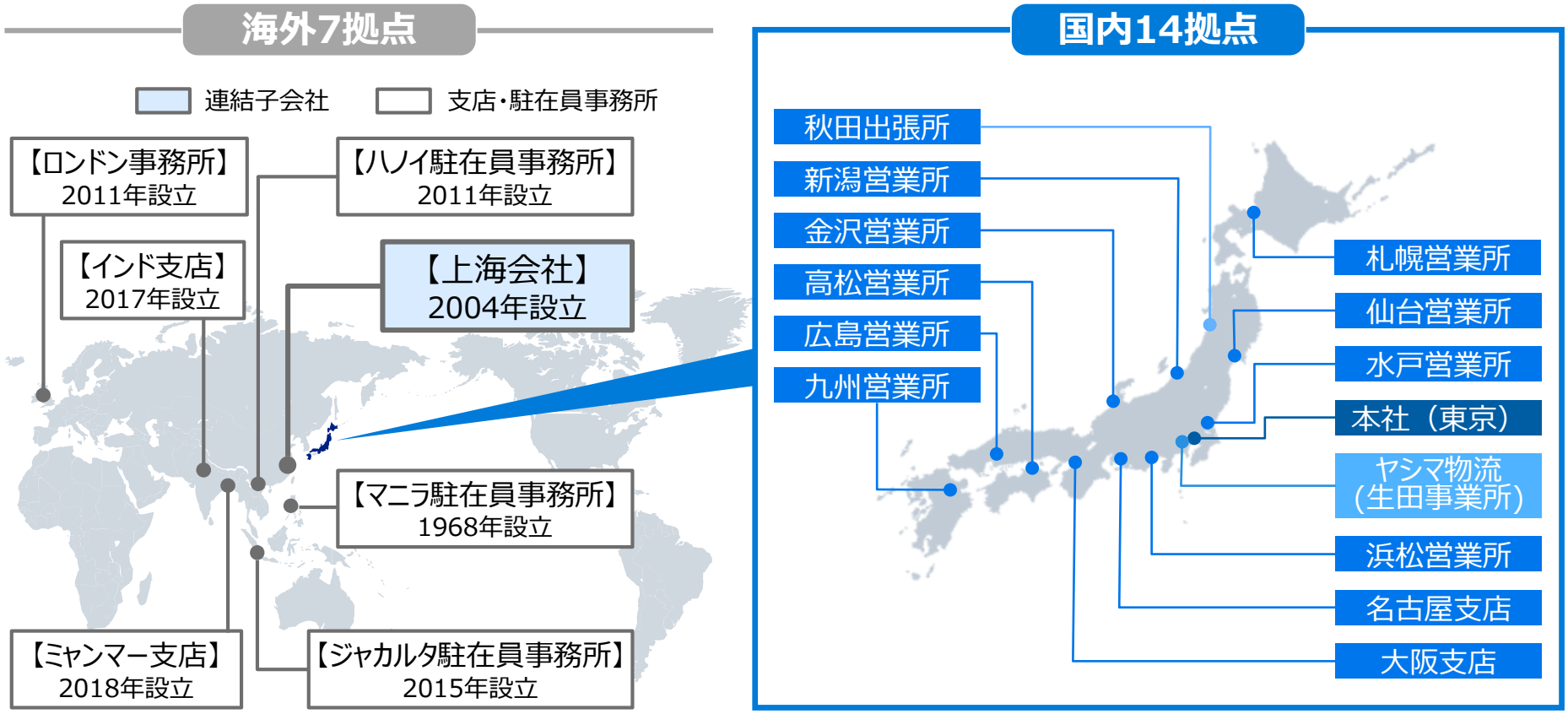
YASHIMA

■ 1948年に設立、旧国鉄との取引から始まり70年、鉄道の発展に寄与し成長

ヤシマキザイ主要商材

グループ拠点

■ 日本全国を網羅する14拠点に加え、海外への展開を進めています



東証二部　証券コード：7677

株式会社ヤシマキザイ

https://www.yashima-co.co.jp/

【お問い合わせ先】　経営企画室
ＴＥＬ：03-4218-0096
E-mail：contact-ir@yashima-co.co.jp